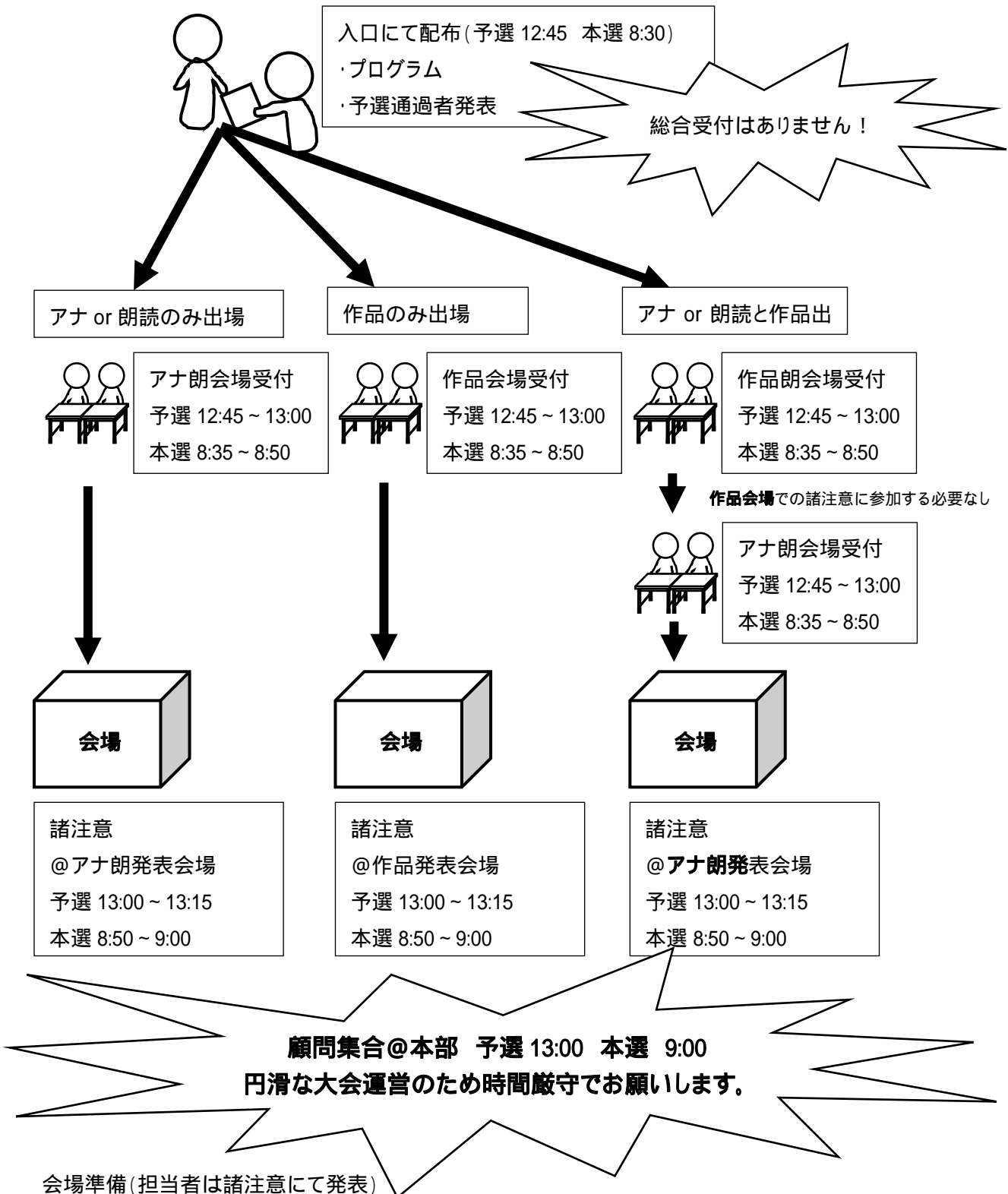


NHK 県大会の生徒・顧問の動き

1. 大会前までの動き (予選の日は **12:30** まで学校に入れません)



会場準備(担当者は諸注意にて発表)

予選 準備は役員校で終了(黒板の名前書きのみ行う)

本選 9:00 ~ 9:30

2.大会

予選 13:30~

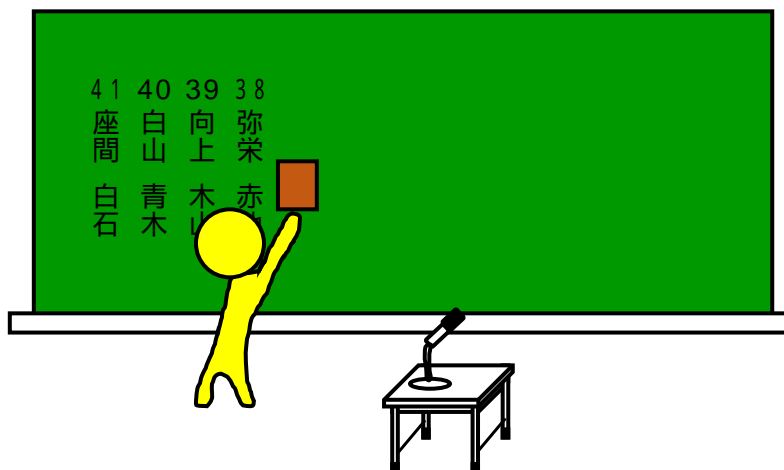
本選 9:30~

A.アナ朗

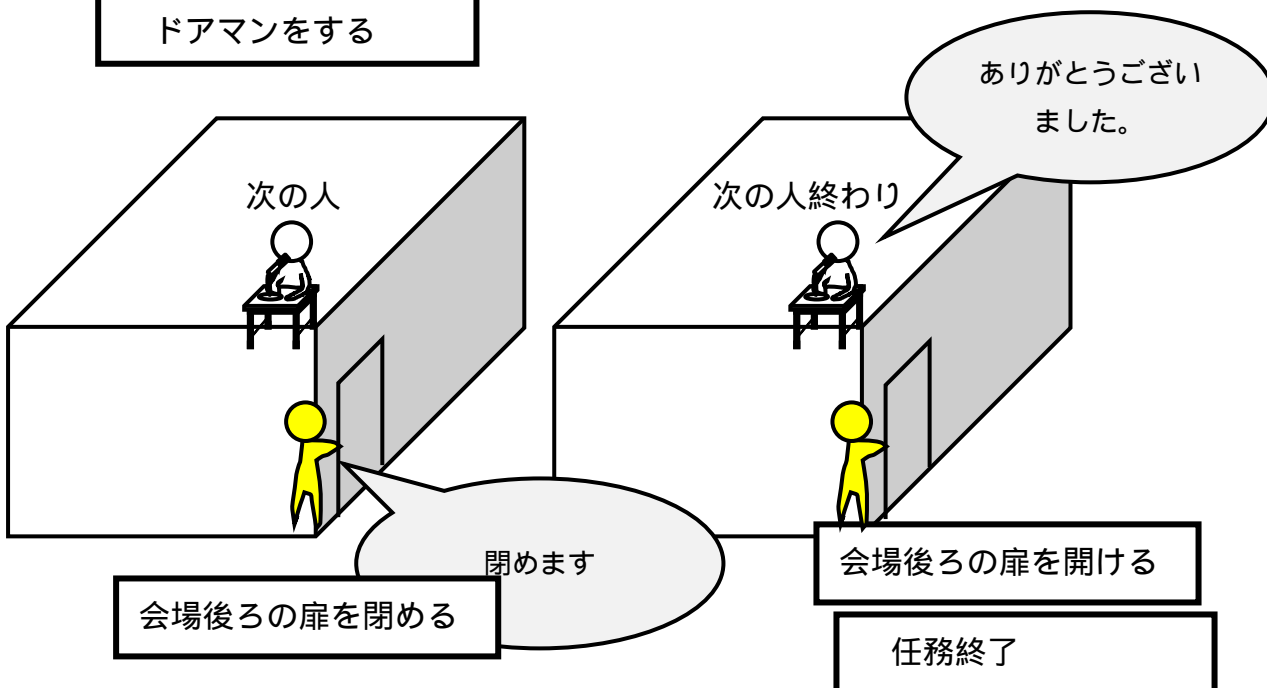
○発表者全員の任務

アンパンのあり方を利用。

発表が終わったら
自分の名前を消す



次の発表者のために
ドアマンをする

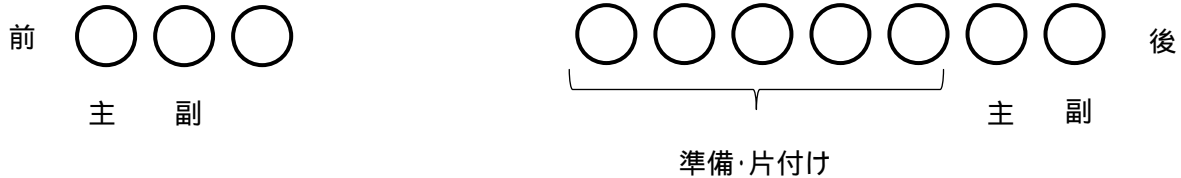


○特定の生徒のみの任務

当日の諸注意の際に確定するので全員必ず理解しておくこと。

a) 以下の発表番号の生徒が下記の任務を行うことになる。

欠席者がいる場合はずれることになるので必ず、**全員が全ての任務**を理解しておくこと



b) 主 主計時(スクリプト出し入れ含む)

該当者 最後から2番目の生徒と1番の生徒

最後から2番目の生徒 1番の生徒が発表と任務(ドアマン)が終わるまで

1番の生徒 最後から2番目の生徒と代わったら最後まで

c) 副 副計時(審査用紙回収含む)

該当者 最後の生徒と2番の生徒

最後の生徒 2番の生徒が発表と任務(ドアマン)が終わるまで

2番の生徒 最後の生徒と代わったら最後まで

B. 番組

○最後の5名が準備片付けおよび審査補助

欠席者およびアナ朗に出場する生徒を飛ばした最後の5名となるので、必ず**全員が全ての任務**を理解しておくこと。

Aさん 計時(主)

Bさん 計時(副) + 黒板

Cさん 回収

Dさん ドアマン

Eさん 予備

2. 大会終了後

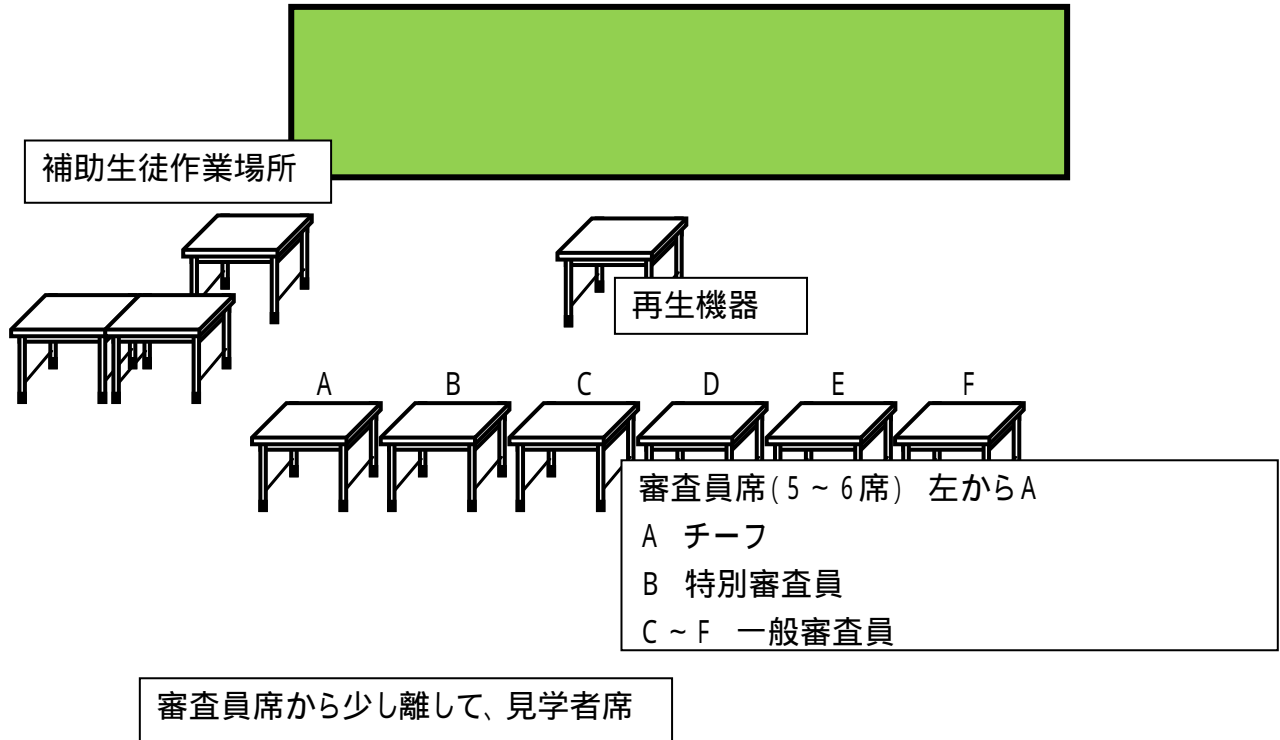
担当者は片付けおよび原状復帰。

機材を本部に運び、任務終了報告後解散

決勝大会のみ、午後(詳細な時間はプログラム参照)、指定された会場にて**特別審査員からの講評**

会場の設営 会場図はプログラム参照

プログラムで審査員の人数を確認の上、椅子・机を人数分並べる。
アナウンス・朗読部門は、出場者待機用に、9人分椅子を並べる。
機器の点検・・・デッキなど音・画像を出して異常なしを確認する。
何かトラブルがあったら、本部の役員教員まで連絡すること。



○黒板

黒板にはプログラムの通りに、**番号・学校名**を書く。尚、学校・氏名は略称でよい。

例)法政二大学第二高等学校 法政二

棄権の場合は、黒板にその旨を記入する。

例)法政三

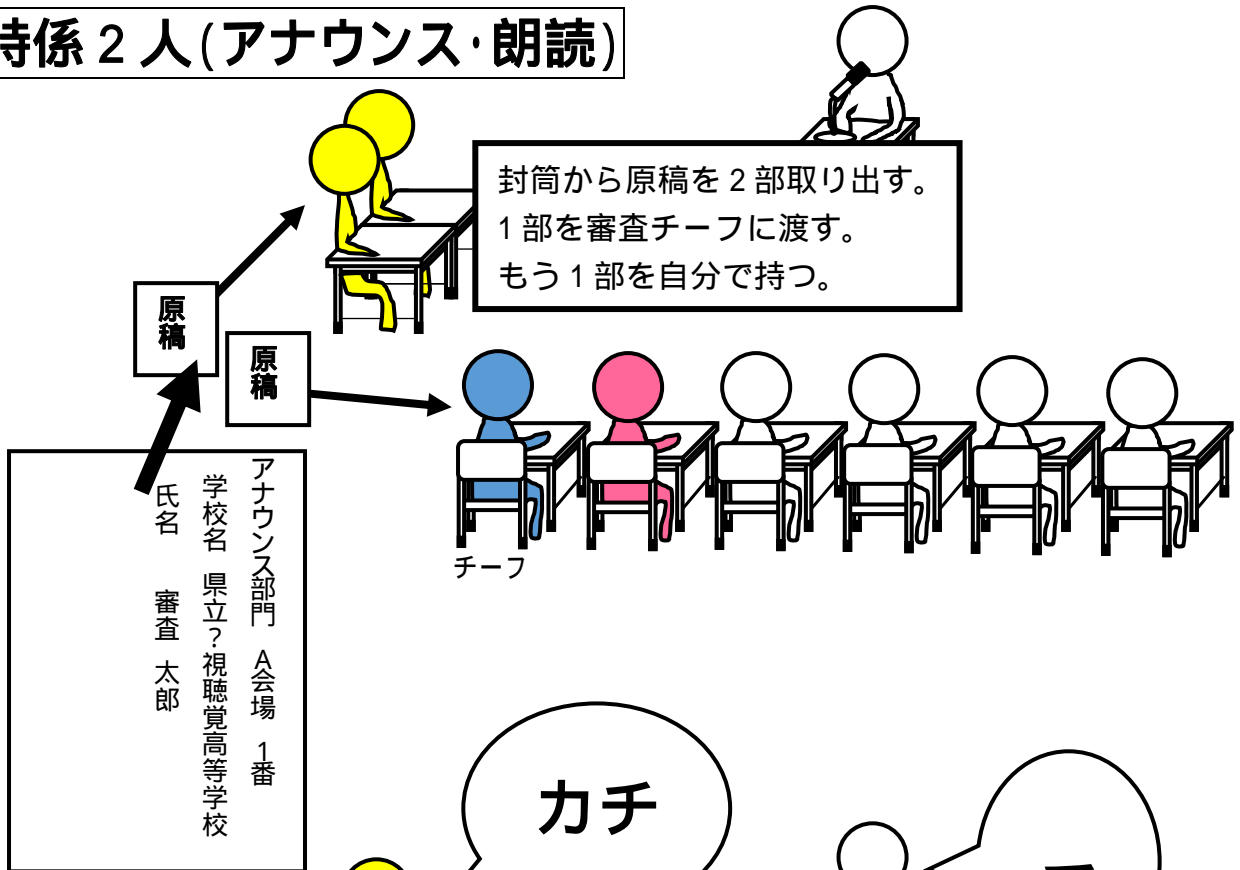
○審査用紙の準備

審査用紙には、あらかじめ審査員記号(A・B・C・・・)とエントリー番号を記入しておく

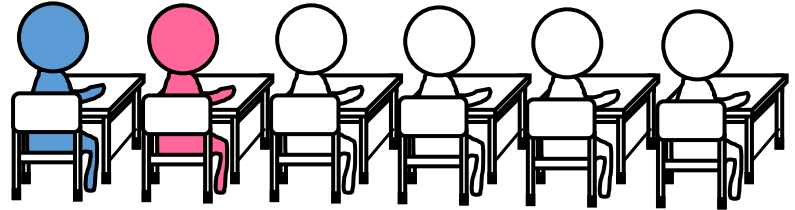
(印刷されていれば必要なし)。

各審査員の机に、筆記用具を準備する。その際、シャープンの芯が十分にあるか確認する。

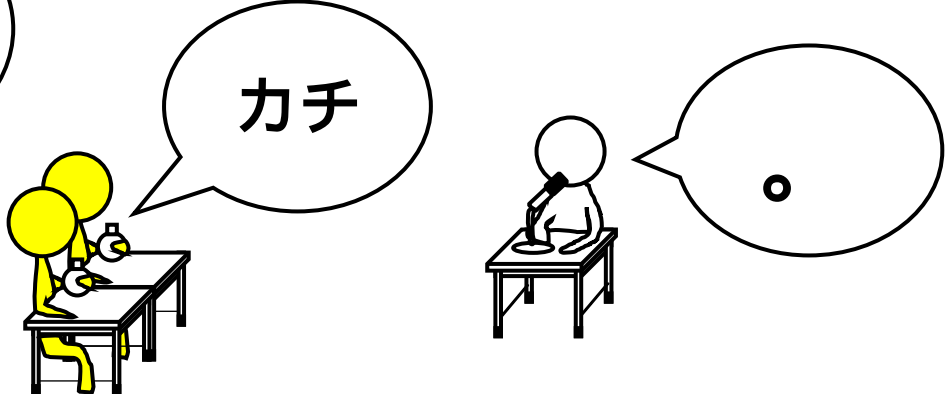
計時係 2 人 (アナウンス・朗読)



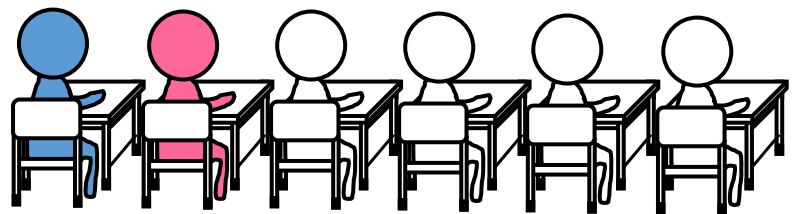
第一声から計測開始



1分30秒です

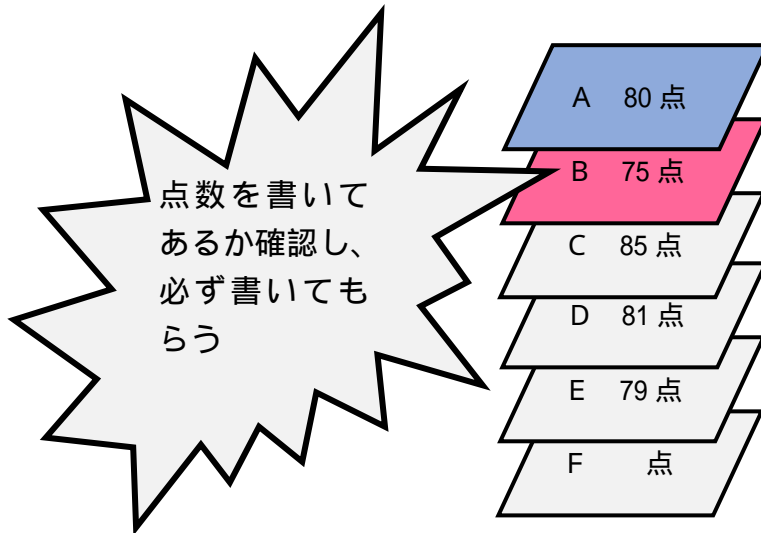


最後の声 (原稿参照) で計測終了。
時間を言う。



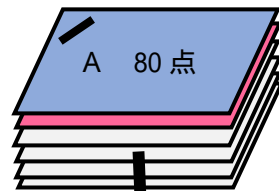
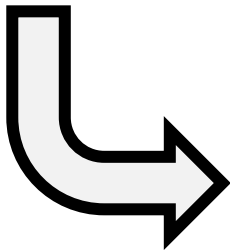
審査用紙回収係

アナウンス・朗読は副計時が行います。



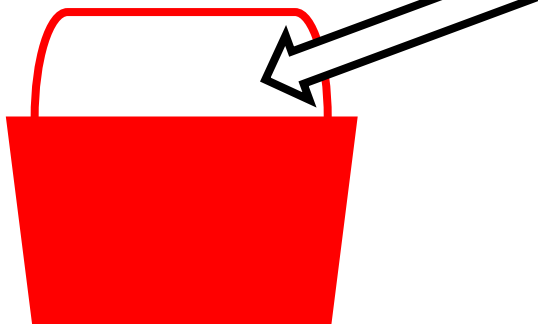
審査用紙は図の順番になるように回収すること

ホチキスで左上を留める



封筒に入れる

回収用のカゴに入れる



アナウンス部門 A会場 1番
学校名 県立？視聴覚高等学校
氏名 審査 太郎

計時係 2 人(ラジオ)

再生機器二つを、切り替えスイッチを使って交互に再生する（読み込み時間の短縮のため）。
一方の機器で再生中に、もう一方の機器のCDを入れ替えて次の再生に備える。

ラジオドラマ部門 A会場 1番
学校名 県立〓視聴覚高等学校
氏名 審査 太郎

封筒からCUEシートを取り出し、審査チーフに渡す。

チーフ

再生ボタンを押す

カチ

カチ

音

最初の音から計測開始

7分59秒です

カチ

制作は 高等学校放送部でした。

カチ

クレジットコール終わりで計測終了時間を言う。
同時に再生を止める。

計時係 2 人(テレビ)

